

多目的ホール 映像ガイドライン

2017年9月22日

<プロジェクター本体>

- ・ ホールにあるプロジェクターは、「NEC ViewLight NP-V260JD」である。以下に基本的な性能を記す。

方式	明るさ	コントラスト比	液晶パネル画素数	本体サイズ	映像入力端子
DLP	2600lm	2000 : 1	800×600	310×247×95(mm)	ミニ D-Sub15pin, RCA, S 端子
	最大表示色	アスペクト比	対応解像度規格	重量	↑のうち同梱ケーブル
	1677 万色	4:3	VGA~フル HD	2.5kg	ミニ D-Sub15pin

- ・ プロジェクターは大変高価な機器なため、取り扱いにはくれぐれも注意すること。
- ・ **電源の on/off は電源コードを引き抜かず、必ず電源ボタンで行うこと。** 投射後、ランプが非常に熱くなっているため、一定時間ファンが回っている。電源コードを抜いてしまうと、このファンも止まってしまう、結果としてランプの消耗を早め、プロジェクター自体が痛む原因となる。
- ・ 万が一使用中にランプが切れてしまった場合は、**総務部に報告し、ランプを取り替えること。**
- ・ **勝手な修理・分解等を行わないこと。**
- ・ 使用の際、プロジェクター付属のシートに使用開始日・使用終了日を記入すること。
- ・ 使用開始時・使用中に気づいた異常・欠品の有無などについては総務部に報告し、シート備考欄に記すこと。
- ・ **ケースに入れ長机の上においておき、** 退出時、総務部にチェックを受けること。

<プロジェクターの使用>

- ・ 使用場所はホール 1 G 2 G に限定する。
- ・ 投射する際には、必ず**安定したところに置き、高熱を出す機器のため火災防止として可燃物（テープ、段ボール等）が周囲にない状態で使用する**こと。特に、高熱を出す本体排気口付近に可燃物を近づけてはならない。
- ・ 使用中に発煙等が見られた場合は、速やかに使用を止め、総務部員に連絡すること。
- ・ プロジェクターに貼付けてよいのは養生テープに限る。
- ・ **粉塵が多い場所など、プロジェクタの損耗を早めるような場所で使用しないこと。**

多目的ホール総務部